

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	認知プロセス論特論		
英文授業科目名	Topics on Cognitive processing		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	坂本 真樹		
居室	東1-712		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakamoto@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
人間には、視点の投影と推移、事態解釈、メタファー、知識形成（記憶、イメージ形成、カテゴリー化）をはじめとする様々な認知能力が備わっています。認知能力と深く関わる具体的に考察可能な対象を分析することは、直接探求することが難しい認知プロセスを理解するための手段として有効です。この授業では、日常無意識に用いている言葉や、無意識のうちに目にしている広告（主としてTVCM）を採り上げ、人間の認知能力との関連で考察し、言語、広告、そして人間の認知能力について理解を深めることを目標としています。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
適宜、資料や論文を配布します。

【授業内容とその進め方】
<p>講義と学生による発表（論文紹介など）を、テーマごとに行ってゆく。</p> <p>1回目：言語学及び広告学の変遷における認知科学的視点の位置付け</p> <p>2・3・4回目：視点の投影と推移の認知プロセスと言語と広告</p> <p>5・6回目：事態認知モデルと言語と広告</p> <p>7・8回目：メタファーと言語と広告</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

9回目以降：知識形成（記憶・イメージ形成・カテゴリー化）と言語と広告

【成績評価方法および評価基準】

授業中の発表、レポート、授業参加度によって総合評価します。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜11:00-12:00

【学生へのメッセージ】

人間が無意識のうちに行っていることを意識化することによって、人間のもつ認知能力について理解を深めてください。この授業で得たことは、言語や広告はもちろんのこと、人間が関わるどのような研究テーマを専門にする学生にとっても、役立つことと思います。各自が積極性をもって授業に参加することにより、活気のある授業にしていきましょう。